

修学旅行先をめぐる知事の発言に関連して

	タイトル	意見等
1	韓国旅行	北海道は熊が出たら終わり。韓国旅行にしろ。という知事の発言は意味不明。北朝鮮からミサイル飛んできたら韓国も終わりではないですか？ 韓国との定期便を維持したいのがミエミエですが、他県を腐すのはやめた方がいいかと。はっきり言って頭悪いですよ。
2	韓国への修学旅行推進について	知事の発言について、謝罪を求めたい！ 熊が怖いから勧告への発言は、余りにも稚拙ではないか？ なら、ひめゆりの塔や知覧を訪問し、ニュートラルな上体で将来あるべきかたちを学生に学ばせる方法も有り、海外に拘るならば、韓国に拘る理由も発表すべきだと思う。 各社の記者を呼んで、詳細に語るべきだと思う。 このままダンマリを決め込んで逃げない様にして欲しいものです。 是非、県の広報誌や各学校長へも報せて欲しいものです！
3	修学旅行をめぐる一連の発言等に対する抗議	修学旅行をめぐる一連の発言・働き掛けについて、強く抗議します。これらはもはや単発の失言や「選択肢の提示」として済ませられるものではなく、長期間にわたり繰り返されてきた以上、看過できません。 2024年11月21日の教育長会見では、知事から韓国・香港を修学旅行先として検討するよう求めたことが明らかにされ、2025年2月5日には北海道へ行く学校について「せっかく韓国、香港直行便ができたのになんで行かないんですか」と発言しています。同年7月18日にも韓国へ行くよう働き掛けていた旨を自ら述べ、12月11日の県議会では、生徒が校長に見せた知事の動画が「修学旅行は国内ではなく韓国へ」という趣旨だったと教育委員会が答弁しました。 2026年1月23日、2月6日にも韓国への修学旅行を促す発言を重ねています。 さらに8月24日には、北海道への修学旅行を「クマが出たら終わり」と述べ、海外へ行く高校との間に「差が出る」「淘汰される」とまで発言しました。具体的な危険性を示さず一方の行先を貶め、他方を繰り返し推奨する姿勢は、公平な選択肢の提示とは到底評価できません。 修学旅行先は、教育的意義、安全性、費用、生徒・保護者の意向等を踏まえ、各学校が主体的に決定すべき事項です。県政の最高責任者が特定の行先を執拗に推奨し、異なる選択を「淘汰」と表現することは、学校現場への事実上の圧力と受け取られても仕方ありません。 一連の言動は、教育の自主性・公平性に対する認識を欠くものと受け止めざるを得ず、徳島県知事としての資質・適格性に重大な疑義を抱きます。韓国を繰り返し推奨する理由、学校・教育委員会への全ての働き掛け、北海道を危険視した客観的根拠、「淘汰」発言の真意、航空政策との関係を明らかにし、必要な発言の撤回・謝罪と、今後学校の自主判断に不当な影響を及ぼさないことを明言するよう強く求めます。
4	知事発言	「北海道の修学旅行クマが出たら終わり」って確かに正しいが、クマはどこでも出る！ 修学旅行を海外にして日本のためになるのでしょうか？ クマが出る土地で暮らしている道民は不快です。 「徳島の阿波踊りが中止だったら行くことない」と聞いて、県民はどんな気持ちでしょう？ 徳島県、好きだったのにこんな知事の発言で残念な気持ちです。